

【社会福祉法人 近江ちいろば会 ぼだいじデイサービスセンター虹】

【所在地】 湖南省 菩提寺327-4【従業員数】 22人

【設立年】 1995年 9月

【活動・取組の目的】

- ・抱え上げない介護の実践（ご利用者・介護スタッフ双方の健康増進のため）
- ・スタッフの心身の健康、病気治療に留意した職場作りと働き方の推進

【活動・取組の概要】

○「抱え上げない介護(ノーリフトケア®)」の導入による腰痛予防と健康づくり

- ・介護機器、福祉用具の導入(移乗用リフト、スライディングボードなど)により、従来の人力による介護から機器・用具を使った介護に転換
- ・スタッフの腰痛調査を定期的実施。スタッフの健康状態の把握、腰痛要因の把握に努めている
- ・洗い出した腰痛要因ごとに、対策を立案。啓発ポスターに仕上げて職場内での啓発をおこなった
- ・2か月ごとに介護技術研修を実施。体に負担をかけない介護方法の習得に努めている
- ・「スクワット」「ストレッチ」「これだけ体操」を毎日実施し、介護業務に必要な体づくりを実践
- ・「抱え上げない介護」に関する情報を広報誌に掲載したり、地域の会議などで発信をおこなっている



OMI CHIROBAKAI



【活動・取組の概要】



OMI CHIROBAKAI

○「がん」治療が必要になったスタッフと、復帰に向けてのプログラムを作成、 治療と仕事復帰の両立支援をおこなった

- ・傷病休暇 約190日の後、定期的に本人と面談を持ち、在宅ワークを含めて段階的に勤務日数を増やし、体調に考慮しながら職場復帰できるまで伴走した。＊週1日勤務 ⇒ 週3日 ⇒ 週4日 ⇒ フルタイム
- 仕事内容も本人の体調に合わせて、できるだけ負担がかからない内容で提案、実施。

○スタッフの健康状態の把握と励まし合う職場風土づくり

- ・半期に一度、全職員を対象にした定期面談の実施。健康状態の把握、ストレスの軽減に努めている
- ・一日の終わりにお互いの良かった点を伝えあう「スマイルプロジェクト」を実施
- ・頑張ってくれたスタッフをみんなで讃える「職員表彰制度」



介護機器を使った
移乗介助



体を守るための
介護技術研修



介護のための
体づくり



負担軽減の
啓発ポスター



職員表彰制度

【効果・成果】

- ・抱え上げない介護率100% 心身の不調によるスタッフの離職率0%
- ・滋賀県社会福祉学会にて“抱え上げない介護”に関する取り組みを報告し、優秀実践賞を受賞
- ・これまでの活動を評価していただき“令和5年度 滋賀県 抱え上げない介護推進事業所”に推奨される
- ・全スタッフの協力のもと、病気の治療と療養期間を終えたスタッフは現在、以前のような通常勤務に戻り笑顔いっぱい元気に勤務している
- ・従来の抱え上げる介護を「抱え上げない介護」に転換することで、力の弱いスタッフ、病気治療中のスタッフでも可能な負担の少ない仕事へと昇華できた

【今後の目標・展望】

- ・職場の安全衛生管理を重視し、どのスタッフもが長く、笑顔で勤められる職場を作りたい
- ・「抱え上げない介護」の取り組みで得られた安全衛生の視点・ノウハウを地域に還元したい



OMI CHIROBAKAI